# 年 報

令和元年度

徳島県立図書館

# まえがき

徳島県立図書館は、大正6年6月24日に大正天皇即位記念「徳島県立光慶図書館」として、現在の徳島中央公園の地に開館し、昭和には2度の焼失からの再建、平成2年の文化の森総合公園への移転を経て、本年は4番目の令和の時代を迎えました。

この間、阿波国文庫、モラエス文庫をはじめとする貴重な資料を収集するとともに、先進的な図書館活動や幅広い文化活動によって多くの業績をあげて参りました。

現在では、蔵書数約166万冊、年間貸出数約62万冊と、いずれも全国有数の規模を誇る、まさに郷土文化の拠点となっており、また平成29年度は開館百周年の大きな節目の年となりました。

これを契機として、これまでの百年を振り返る記念誌『徳島県立図書館百年史』を作成するとともに、これからの新たな百年に向けて、「一歩先の未来の図書館」を目指し、「読書習慣を育む子どもの図書館」、「デジタル技術を活用した知的探求を応援する図書館」、「市町村立・学校図書館をしっかりサポートする図書館」、そして「専門性の強化」を掲げ、平成28年度から3か年にわたり、「こども読書手帳」の発行や「とくしまデジタルアーカイブ」の構築など様々な百周年記念事業を実施して参りました。

平成30年度には図書館ホームページで「電子書籍閲覧サービス」を開始するとともに、「徳島県立図書館開館百周年記念~新たな100年へのキックオフ~」としまして、次の100年のために、次世代の図書館利用者を育てることを目的として「親子で楽しむコンサート」や、初めての取組みとなる「英語のおはなし会」を実施しました。

また、「子ども食堂」、「子どもと貧困」などの現代的な問題と図書館の関わりについて、 徳谷章子氏による講演会「子どもの居場所と図書館 ~ただいま おかえり~ 」を開催す るなど、改めて、人生を豊かにする読書の意義や、図書館に期待される役割などを県民の皆 様に考えていただけたものと存じます。

令和元年度も、県立図書館は、徳島県の図書館ネットワークの中核として、幅広い分野の図書や資料を収集し、県民の皆様の様々な知的欲求や調査・研究に応じることができるよう取り組んで参りますとともに、県全体の図書館サービスの向上に努めて参りたいと考えておりますので、この年報をご一読いただきまして、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年6月

# 数

Ι	運営の基本方針	1
	令和元年度重点事業	1
$\Pi$	令和元年度事業計画	2
	令和元年度図書館予算(当初)の状況	7
	徳島県立図書館資料収集方針	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	10
Ш	平成30年度事業報告	14
1	1 企画振興課関係	14
2	2 調査相談課関係	15
5	3 資料課関係	17
4	4 図書館システム関係業務	19
5	5 他機関との連携事業ほか	19
6	6 諸統計	24
<b>TT</b> 7	Arte -FTI	0.0
IV	管理	
1		
	2 施設・設備	
	3 沿革	
4	4 歴代館長	29
V	平成30年度行事記録	30
VI	電子図書館サービスの提供について	35
デー	ータで見る徳島県立図書館の現状	37
徳島	島県内市町村立図書館一覧	38
徳島	· ·	39
開創	官時間・休館日	39
付鍋	录:徳島県立図書館サービス向上目標(第3期)〜県立図書館サービスの新たな展開〜」 および数値目標	1~4

# I運営の基本方針

(1) 図書館法とユネスコ公共図書館宣言の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的 に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。

また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。

(2) 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。

また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。

- (3) 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。 また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の 充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- (4) 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- (5) 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- (6) 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

# 令和元年度重点事業

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に的確に対応し、県全体としての図書館サービスの向上を図るため、行動指針「一人でも多くの人へ"図書館サービス"の提供を」のもと事業を進め、新たな100年に向けて一歩先の図書館を見据えた「知の拠点」事業を引き続き推進する。

(1) 図書館「知の拠点」事業の実施

「子どもの読書習慣をはぐくむ図書館」「デジタル機器も活用した知的探究を応援する図書館」 「市町村立・学校図書館をしっかりサポートする図書館」「専門性の強化」を目指す。

- (2) 県の中核図書館としての図書館資料の収集・整備・提供
  - ・県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化
  - ・子どもの読書活動の推進、子どもの本の資料センター的機能の充実
  - ・徳島に関する幅広い資料の収集・充実
  - ・地域資料のデジタル化の推進、デジタルアーカイブシステムによる地域資料の提供
  - ・電子書籍閲覧サービスの充実
- (3) 県民のさまざまなニーズや課題解決の支援
  - ・知のバリアフリー実現に必要な資料や機器、サービスの整備・充実
  - ・子育て支援、行政支援、医療・健康情報等の収集・提供
  - ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実

# □ 令和元年度事業計画

区分	事 業 名	趣旨	対 象	時 期	方 法(内容)
	徳島県立図 書館協議会	館長の諮問機関として、県 立図書館運営の基本的事項 を審議する。	協議会委員	年1回	諮問事項の審議等。
企	徳島県公共 図書館協議 会	県内公共図書館の連絡協調 を図る。	県内公共 図書館	理事会 4月 旬、 研修会 年3回	活動状況の意見交換や相 互協力について検討する。 職員の研修会、図書館大 会を開催する。
画振	徳島県読書 振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催する ための援助等を行う。
課(	協力車の運 行	県内図書館間協力のため、 協力車等により資料の貸 出、県内図書館間の相互貸 借等を行う。	市町村立 図書館未 設置町教 育委員会	毎 週	市町村立図書館・図書館 未設置町教育委員会から の貸出希望に応じる。
企	相談業務	図書館や類似施設等に、相 談・助言を行う	県内公共 図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交 換等を行う。
画振	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団 体・学校 等	年 間	来館して直接選択して もらい、一括貸し出しを する。
担 担 当	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5~10冊編成で貸し出す。	図書館、 読書グル ープ	年 間	貸出期間2か月。図書 館を通しての貸し出し も行う。
	町立図書館 の設置促進	すべての町に図書館が設置 されるよう推進する。	図 書 館 未設置町	年間	自治体の理事者・教育委 員会に対して、その重要 性を呼びかける。
	学校図書館 への協力貸 出	学校図書館からの貸出希望 に応じて資料の貸出を行 う。学校における図書館活 動の活性化に協力する。	県内高等 学校及び 特別支援 学校	年 間	希望校が、最寄りの市町 村図書館で資料を受け取 れるよう、県立図書館か ら協力車等で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて学 術調査及び研究を行い、文 化の推進及び地域貢献に寄 与する。	海陽町	8月調査	12学会約100名の専門家 によって、それぞれの分 野で集中的に調査を行う。

区分	事 業 名	趣	対 象	時 期	方 法(内容)
調	逐次刊行物 の選択・収 集・整理	最新の知識情報が得られる 定期・不定期刊行物(新聞・雑誌、年鑑、年刊、統計 書、白書、政府刊行物、官 報等)を選択・収集し、整 理する。	一般	年 間	逐次刊行物は継続的に収 集し、保存のため年次別 に整備する。
相談課	逐次刊行物 の閲覧と貸 出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸 し出しや一部CD-ROM による閲覧により、利用者 の要求に応じる。	一般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
(調	複写サービス	著作権法にのっとり、複写 サービスの適正な運用につ とめる。	一般	年 間	館内利用者及び県内外からの複写申し込みに応じる。
査 担 当	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、 ブラウジングコーナーの充 実をはかる。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入 費を負担してもらう。最 新号カバー等にスポンサ 一名を表示する。
□ )	参考図書の 収集と整理	各分野の調査・相談に必要 な参考図書の収集、整備に 努め、利用に供する。	一般図書館	年 間	新刊情報誌等により、選 書、収集する。
	電子書籍閲覧サービス	課題解決に役立つ電子書籍 を提供する。	一般図書館	年間	館内端末とインターネットで個人に提供する。
	特別集書の 収集と貸出	「橋と川」に関する資料を 収集し貸出する。	一般図書館	年 間	「橋と川」に関する資料 を収集する。
	データベー スの提供	オンラインデータベースを 活用し、高度な調査研究に 応える。	一般	年 間	契約データベースの閲覧専 用端末を設置。可能なもの はプリントアウトに応じ る。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書 館等から寄せられる調査研 究の質問に対して必要な資 料や情報を提供する。		年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワーク と相互貸借	国会図書館、全国の公共図 書館とのネットワークに参 加する。相互貸借により利 用者の資料要求に応える。	一般図書館	年 間	総合目録ネットワークシ ステムへ蔵書目録データ を提供する。県外図書館 から資料を借り受け、利 用者へ提供する。
	レファレン スツールの 作成	レファレンスの事例をデー ターベース化し、検索ツー ルとして役立てる。	一般図書館	年 間	レファレンスの回答記録 から選定したものなどを データ入力する。また、 公開にも努める。

区分	事 業 名	趣旨	対	į	象	時	期	方 法(内容)
(調査担当	検索コーナ ーの管理・ 運営	来館者の自主的な調査研究を援助する。			般	年	間	利用者用検索端末・デジ タル画像閲覧端末を設置 し、各種コンテンツを提 供する。
	インターネ ット端末の 一般開放	調査研究や知的創造などに 欠かせない電子文献の収集 を援助・促進する。	_		般	年	間	インターネットが閲覧で きる端末を設置し、Web情 報の利用に供する。
調	郷土資料の 充実と整理	郷土に関する資料要求に応 えるため、郷土に関する資 料の収集・整理に努める。	_		般	年	皿	特色のあるコレクション として一般蔵書と区別し て保存し、利用に供する。
者 相 談	地方行政資料の収集と 整理	国、県、市町村への働きかけを強めて、官公庁出版物と地方行政資料の収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。			般	年	噩	県、市町村及び国の出先機関等に資料の提供を呼びかける。Web 版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
課	調 査 相 談活動	一般利用者、市町村立図書 館等から寄せられる調査研 究の質問に対して必要な資 料や情報を提供する。	一図県	書機	般館関	年	間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
#####################################	資料の複写	デジタル化された新聞、郷 土資料等の複写サービスを 行う。	_		般	年	間	デジタルライブラリ画像 閲覧システムによる複写 を行う。
当 )	資料のマイ クロフィル ム化・デジ タル化	調査研究資料として増大する新聞情報、貴重資料を、マイクロフィルム化・デジタル化して整理保存、利用者に提供する。	_		般	年	間	現在、収集保存している 全国紙地方面を引き続き マイクロフィルム化し、 利用に供する。また、貴 重資料等のデジタル化に 努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の 展示を行い、関心を高め利 用を促進する。	_		般	年	間	郷土資料の展示を行い、 展示資料リストを作成す る。
	郷土用レフ ァレンスツ ールの作成	郷土の事項や人物に関する レファレンス事例データベ ースを作成し、検索ツール として役立てる。	一図	書	般館	年	間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。 また、公開にも努める。

区分	事 業 名	趣	対 象	時 期	方 法(内容)
	資料の収集 と整理	一般貸出資料の選択・収集・整理を行う。	一般	年間	新刊情報により選書し、 発注、受け入れ・貸し出 しを行う。
資	資料の配架 と保存	開架図書の利用を促進し、 書庫内資料の速やかな出納 を容易にする。	一般	年間	オープンスペースと書庫 の資料を適正に配列する。
料	予約 (リク エスト) 制 度	利用者の希望する資料の予 約を受け提供する。	一 般	年間	来館・電話・インターネットで予約を受け処理する。
課	視聴覚資料 の収集と整 理	CDの収集・整理を行う。	一 般	年間	CDブックを収集し、貸 し出しする。(音楽CDは 寄贈のみ収集)
~	障がい者及 び高齢者用 資料の収集 と整理	障がい者や高齢者のための 資料を収集する。	障 がい者高 齢 者		大活字本やDAISYを 収集・整理し、貸し出し を行う。また、据置型・ 携帯型拡大読書器、活字 自動読み上げ機、プレク ストークを設置している。
料 担 担	対面朗読	目の不自由な方に、資料を 朗読する。	目の不自由な方等	年間	来館のうえ、対面朗読協力者が朗読する。
当 )	郵送貸出	障がいのため、来館が困難 な利用者に、郵送による貸 し出しを行う。	障 がい者	年間	電話、文書等で申し込みを 受け付け、図書館資料を 郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却しない 利用者に対して督促通知を 行い、資料の効率的運用を 図る。	一般	年間	郵便と電話により、通知を行う。
	ベストセラー寄贈事業	予約者が多いベストセラー 本の寄贈をお願いし、予約 待ち期間の短縮を図る。	一般	年間	図書館ホームページや館 内にリストを掲示し、寄 贈していただく。
	貸出、利用 者登録	資料の貸し出しと貸出利用 者を登録を行う。	一 般 鬼 童	年間	貸し出しは、県内在住者、 在勤者、在学者に対して 10冊22日間。(貸出日を含む)。

課	事 業 名	趣	対 象	時期	方 法(内容)
	図書の展示	テーマにそった一般貸出資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一般	年 間	それぞれの時期にテーマ にそった図書を集めて展 示する。
	資料の収集 と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話 CDなどを収集整理する。	0 歳 ~ 高 校 生、 一 般	年間	新刊情報により選書し、 発注、受け入れ、保存を 行う
資	予約(リク エスト)制 度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0 歳 ~ 高 校 生、 一 般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
料	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの 読書関係者(機関)、市町村 立図書館等からの質問に対 して必要な資料や情報を提 供する。	0 歳 ~ 高 校 生、 一 般、図 書館、関 係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
課	学校図書館 との連携推 進	学校図書館担当職員の相談 ・要望に応えることによ り、学校図書館との連携を 進める。	特別支援 学校図書 館 他	年 間	要望のある県立学校図書 館を訪問して説明や相談 に応じる。
( 児 童	子どもの読 書に関する 研修会	公共図書館職員、読み聞か せボランティア、子どもの 読書活動推進関係者など が、子どもの読書のすすめ 方について研修を行う機会 を提供する。	子 読書 関係 者、 圏 書館	年 間	研修会を開催する。
担当)	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書 の楽しさを味わってもら う。	乳 幼 児 児 童	月3回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを行う。(月 2回はボランティアによる)
	こどもの本 コーナーだ よりの発行	児童書、子どもの読書関連 行事等を紹介すると共に、 こどもの本コーナーの広報 をする。	0 歳 ~ 中 学 生、	月1回	ホームページ「こどもの 本コーナー」にも掲載す る。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展 示を行い関心を高め、子ど もの読書活動を推進する。	0 歳 ~ 中学生、 一般	年 間	それぞれの時期にテーマ にそった図書を集めて展 示する。
その他	とくしまネ ットワーク 図書館シス テム等の管 理運営	コンピュータ委員会を中心に、「とくしまネットワーク図書館システム」、図書館ホームページなどの管理運営を行う。		年 間	コンピュータシステム関係の維持・管理。 マーク登録、蔵書点検作業、ホームページの管理 運用などを行う。

# 令和元年度図書館費予算(当初)の状況

(単位:千円)

事 項 名	令和元年度	備			
図書館管理運営費	47, 158	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費			
県立図書館 「知の拠点」事業	45, 500	一般図書購入費 子どもの本充実費 児童図書購入費 デジタルアーカイブ運営事業 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費			
館内奉仕運営費	400	館内サービス提供諸経費			
コンピュータ管理運営費	4, 127	コンピュータ関係経費 (第6・7期図書館システム修繕関連経費を除く。)			
郷土資料調査収集研究費	807	総合学術調査経費 郷土資料収集費			
読書活動推進費	2, 468	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金			
計	100, 460				

# 徳島県立図書館資料収集方針

# I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」(日本図書館協会採択 1979年改訂)の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な 図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

# Ⅱ 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

# Ⅲ 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
- (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
- (2) 書込を目的として編集されたもの。
- (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー(人権)を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

# IV 個別基準

# <郷土資料の収集>

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域(淡路を含む~近世)とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
  - (1) 郷土地域について書かれたもの
  - (2) 郷土の人物について書かれたもの
  - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
  - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、貸出用を収集する。

# <参考資料の収集>

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

1 辞 典 7 年 表

2 百科事典 8 地図帳

3 専門辞典 9 書 誌

4 人名 (伝記) 事典、地名事典 10 索 引

5 便 覧 (ハンドブック) 11 抄 録

6 図 鑑 12 統計書

# <児童資料の収集>

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

# <視聴覚資料の収集>

- 1 市販されている録音図書(カセット、CD等)、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。
- <新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集>
- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準(昭和63年4月1日制定)」 によるものとする。

### <電子書籍の収集>

辞典・図鑑など調査研究に役立つ資料や郷土資料、図書館の設定したテーマに沿った資料を 収集する。

# <マイクロフィルムの収集>

徳島県に関連するものを収集する。

# <特別集書の収集>

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

# V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で 収集する。

# VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

# VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

# 徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

# 【趣旨】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

#### 1 一般資料

# (共通基準)

- 1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
- 2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
- 3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
- 4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
- 5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
- 6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
- 7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料 を収集する。
- 8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
- 9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
- 10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
- 11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
- 12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
- 13. 大活字本は積極的に収集する。
- 14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
- 15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に 耐えうる資料を収集する。
- 16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
- 17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
- 18. 劣情をそそる資料については収集しない。

#### (分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

## ア総記

- 1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
- 2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

#### イ 哲学・宗教

- 1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・ 系統的に収集する。
- 2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
- 3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

# ウ 歴史・地理

- 1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
- 2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。

- 3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。
- 4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
- 5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
- 6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

# 工 社会科学

- 1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
- 2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
- 3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
- 4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
- 5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
- 6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

#### 才 自然科学

- 1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
- 2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。 民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
- 3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

## カ 技術・工学

- 1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
- 2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
- 3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

# キ 産業

- 1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
- 2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
- 3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

# ク芸術

- 1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
- 2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
- 3. コミック漫画は、収集しない。但し、学習漫画は別途に判断する。
- 4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
- 5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
- 6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
- 7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
- 8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

#### ケ 言語

- 1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
- 2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
- 3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。但 し、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

# コ 文学

- 1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
- 2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く選ぶ。 著名な文学作品やその関係書については、精選する。
- 3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを選ぶ。
- 4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を選ぶ。
- 5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く選ぶ。

#### 2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

#### 1. 雑誌

- (1)情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

#### 2. 新聞

(1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

# 3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては 体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4)継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる(改訂される)資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

# 3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

## 4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2)農業利水、農業用水(614.3)は原則として除く。

#### 5 郷土資料

- 1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。
  - (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
  - (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
  - (3) 個人著者等が徳島出身の資料
  - (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
  - (5) 県内自治体, 関係機関が発行する地方行政資料
  - (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌 広報、リーフレット
  - (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
  - (8) 徳島で発行される同人雑誌
  - (9) 徳島を舞台にした文芸作品
  - (10) タウン誌、ミニコミ紙
  - (11) 観光パンフレット、イベントちらし
  - (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
  - (13) 徳島の地図類
  - (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの
- 2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。
- 3. 一般雑誌、多巻ものの一部(1巻)に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。
- 4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

#### 6 児童資料

- 1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。
  - (1) 児童図書
  - (2) 紙芝居
  - (3) ヤングアダルト向きの図書
  - (4) 児童対象の録音図書など (CD)
  - (5) 児童向きの逐次刊行物
- 2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する
  - (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
  - (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
  - (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。
- 3. 収集の制限

原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。

- (1) 形態
  - 散逸しやすいもの
  - ・組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
  - ・著しく耐久性に欠けるもの
- (2)内容
  - 受験用参考書、問題集
  - ・商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの (ゲーム の攻略本など)
  - ・戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
  - ・童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの (CD、カセット)

# 附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する

# Ⅲ 平成30年度事業報告

1 企画振興課 関係

図書館の維持管理及び職員の人事、服務に関する事務を執行したほか、文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

- (1) 企画関係業務
  - ① 図書館の維持管理
  - ② 各種統計調査、年報の発行
  - ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
  - ④ 徳島県立図書館協議会を 1月18日に開催した。
- (2) 協力関係業務

協力車と配送による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館 と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸し出しを行った。また、各読書 振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

- ① 協力車と配送による援助・協力活動を行った。延べ巡回日数 228 日 延べ配送日数 67 日
  - (ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 18,589 冊

(イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数

5 町

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 5,835 冊

② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館 27 館、図書館未設置町 5 町

③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 24 校 協力貸出(リクエスト)貸出冊数 2,238 冊

④ 県立病院と連携した貸出サービスを実施した。

利用病院数 1 病院

貸出冊数 1,000 冊

⑤ 団体貸出の実施(職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。)

利用団体数 5 団体

貸出冊数 474 冊

⑥ 読書会文庫の貸出(1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。)

利用団体数 11 団体

貸出冊数 971 冊

⑦ 「まなびの森」講演会(生涯学習支援事業)を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 12 講演

参加人数 543 名

- ⑧ 総合学術調査を三好市において、平成30年4月28日から5月7日まで、13学会13班が実施した。 また、平成31年3月16日に、三好市保健センターで、29・30年度三好市総合学術調査報告会を開催した。
- ⑨ 実務担当者会を開催し、協力通信No. 250~255を発行した。

# ■ **協力車の巡回状況** (平成22年4月1日から県内すべての市町村に巡回開始)



◎:協力車等巡回配送対象市町村立図書館(19館…自治体内の中心館に巡回)

□:協力車巡回配送対象教育委員会等図書館以外の施設

# 2 調査相談課 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県 民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相 互貸借、市町村立図書館への協力業務(レファレンス)を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料 の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

# (1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、337,506 冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナー等には、 雑誌 502 タイトル (購入 285:うち 30 は雑誌スポンサー制度、寄贈 217 )、新聞 51 種 (購入 32 、寄贈 19 )、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し 出しも行った。

- ① 資料購入費(備品費) 1,977,185 円で、年鑑、白書等 209 点を購入した。
- ② 資料購入費(需用費) 5,192,651 円で、雑誌 3,552 冊、新聞 32 種、官報を購入した。
- ③ 寄贈資料は 年鑑・年報・統計書類 358冊、雑誌 2,336冊、視聴覚資料 4点を受け入れた。 寄贈新聞は 19 種であった。
- ④ 製本費 154,008 円で、官報 62 冊の製本を行った。

- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、『徳島県内公共図書館購入雑誌・ 目録・所蔵新聞目録 2018 年版』を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館購入雑誌一覧」を公開した。
- ⑥ 県立図書館応援事業として平成21年度から雑誌スポンサー事業を実施し、平成30年度は、14 団体より30 誌の提供があった。
- ⑦ 雑誌のバックナンバーを用いたミニ展示を一般資料コーナーで行った。
- ⑧ 電子コピー機による複写枚数は、51,298 枚(白黒 49,450 枚、カラー 1,848 枚)であった。

#### (2) 参考資料関係業務

① 3,255,614 円で 参考図書 261 冊、 50,866 円で 特別集書(橋と川に関する資料)を 19冊 購入した。

寄贈資料は、参考図書 149 冊、特別集書 1冊であった。

- ② 電子書籍286冊、3,499,915円を購入し、電子書籍閲覧サービスを行った。
- ③ 参考資料数は 67,530 点であり、そのうち参考資料コーナーには 24,103 冊を開架した。特別集書数は 6,766 冊で特別集書コーナーに 4,340 冊を開架した。
- ④ 参考質問件数は 11,693 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 957 件 (そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 63 件,県議会・行政機関からの参考質問は 15 件)、所蔵検索等の資料案内件数が 10,736 件であった。
- ⑤ 資料の探し方についての〈調べものナビ〉「調-16」を作成し、「調-2、5~8、10,13」を改訂して館内で配布した。
- ⑥ 資料の相互貸借は、他館からの借り受けが 132 件 169 冊、他館への貸し出しが 623 件 1,015 冊で、合計 755 件 1,184 冊であった。(協力車等による県内図書館への貸し出しは除く。)
- ⑦ DVD-ROM版、CD-ROM版のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末 3 台で、「聞蔵」等のオンライン・データベースを端末 2 台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は 2,779 枚 (白黒 2,600 枚、カラー 179 枚) であった。
- ⑧ 利用者用インターネット端末2台の利用は486件であった。
- ⑨ 県立図書館の参考図書の新着案内を月1回「とくしまネットワーク図書館」に掲載し、ホームページで公開した。
- ⑩「あの企業の一面を知る! CSRレポート」展をはじめ、ビジネス支援や健康応援に関するミニ展示を計6回行った。
- 即 県内企業支援団体の協力を得て、経営者向け研究会、講演会、相談会のちらしを収集し、〈しごと応援コーナー〉の一角に設置した。
- ② 県よろず支援拠点コーディネーター、中小企業診断士の三谷利恵氏を講師に、「エリアマーケティング・商圏分析に役立つデータベースMieNa(ミーナ)活用講座」を実施した。

# (3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費(備品費) 1,119,578 円で、図書 471 冊、CD 44 枚、DVD 2 枚、地形図16 枚を購入した。
- ② 209,520 円で新聞等のマイクロフィルム 4 巻と縮刷版PDF変換済データ1式を購入した。
- ③ 委託料 36,990 円で貴重資料 2 点のデジタル化を行った。
- ④ 資料購入費 (需用費) 88,763 円で、逐次刊行物 4 タイトル 96 冊と郷土新聞 1 タイトルを

購入した。

- ⑤ 寄贈資料: 図書 462 冊、逐次刊行物 2,322 冊、CD 7 枚、ビデオ 18 本、CD-R 4 枚、DVD 16 枚、を受け入れた。
- ⑥ 製本費 210,276 円で、新聞等 6 タイトル 39 冊の製本を行った。また、60,588 円で 17 冊 の修理製本を行った。
- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 403 人、複写 3,749 枚であった。
- ⑧ 研究室1: 49 件 55 人、研究室2: 1 件 6 人、撮影室: 6 件 6 人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版PDFファイルをデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで利用に供した。
- ⑩ Web上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存した。
- ① 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第 10 号から第 12 号を作成し、館内配布、当館ホームページで公開した。
- ② 「徳島の橋」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブースで計 12 回行った。また、 徳島大学附属図書館との共催展示 「第28回徳島大学附属図書館学術講演会 共催展示 吉野 川洪水と明治以降の治水及びローテク防災術」を開催した。
- ③ 文書館・図書館所蔵「阿波国文庫」を、Web上で一覧できるようにした。

# 3 資料課関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体への充実したサービスの向上を図った。

# (1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 18,462,351 円で、一般資料コーナー用図書 9,008 冊 17,973,681 円 (大活字本を含む。)、視聴覚資料 77 点 488,670 円 (一般用CD 51 タイトル、DAISY 26 タイトル)をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料 1,589 冊を受け入れ、整理した。
- ③ 平成30年度末の一般資料数は 753,431 冊 (視聴覚資料含む) である。一般資料コーナーに約 20万5千冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数 6 諸統計(24・25ページ)参照
- ⑤ 一般資料のリクエスト (予約) は 17,207 件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 593 冊、一般用視聴覚資料 296 点、DAISY 209枚であった。閲覧室には、活字による読書が難しい人がデイジー図書を利用できる専用端末 (プレクストーク) や、据置型拡大読書器を設置し、読書環境を整えている。また、卓上型対 話支援システム (コミューン) をカウンターへ配置し、 聞き取りやすさを補助して、利用者と の円滑なコミュニケーションがはかれるようにしている。
- ⑦ AVコーナーでは、CDデッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。
- ⑧ 「しごと応援コーナー」において、就職・起業、会社実務、経営・雇用などに関する図書を 紹介、貸し出した。
- ⑨ 「セカンドライフ応援コーナー」において、シニア世代に身近な課題をテーマに資料紹介、 ちらし・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑩ 平成21年度から開始した県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、20 冊の寄贈を受

けた。

① ミニ展示を、一般資料コーナー検索端末機横の展示スペースにおいて計 12 回行い、資料の利用促進を図った。

# (2) 児童関係業務

- ① 資料購入費 6,137,981 円 (うち〈子どもの本充実枠)1,998,541円) で、児童関係図書 3,629 冊、洋書 103 冊、紙芝居 77 巻を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費は 208,217 円で、新聞 4 紙、雑誌を 37 タイトル 373 冊を購入し、整理した。
- ② 寄贈資料として図書 283 冊、洋書 15 冊、マルチメディアデイジー 4 点、CD 4 点、雑誌 36 冊 を受け入れ、整理した。
- ③ こどもの本コーナーに約50,000冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約3,800冊を開架図書として配置した。

コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。 また、子育てに関する図書約 800 冊と雑誌 10 誌、赤ちゃん絵本約 800 冊を集め、子育て 関係機関等のパンフレットなども置いた、子育て支援図書コーナーの充実を図った。

- ④ 貸し出しとあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、なお一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。
- ⑤ 児童関係資料のリクエスト (予約) は、4,874 件であった。
- ⑥ 学校図書館訪問相談を、特別支援学校 9 校 延べ 7 回行い、図書館業務に関する相談と県立 図書館のサービスについての案内を行った。
- ⑦ 読み聞かせ団体等 92 団体に対して、紙芝居舞台など読み聞かせ・おはなし会用の備品 133 点を貸し出した。
- ⑧ こどもの本コーナー紙芝居架上で、月ごとにテーマを決めて資料展示を行った。また、折に触れてミニ展示を延べ28回行った。
- ⑨ 子どもの読書に関する研修会・行事
  - ○「初めての方のための読み聞かせ講座」

6月10日 参加者:20名

講師:渡邉美恵(絵本専門士,徳島県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ)

初めて子どもたちに読み聞かせをされる方、してみたいと思っている方対象に、絵本の読み聞かせ、絵本の持つ特徴などについての講義とワークショップを開催した。

○平成30年度子どもの読書研修会

「絵本が子どもの人生を変える一佐野洋子作品の実演とともに一」

講師:景山聖子((社) JAPAN絵本よみきかせ協会 代表)

徳島県立近代美術館主催(後援:徳島新聞社)の「愛されて40年 『100万回生きたねこ』 佐野洋子の世界展」にあわせて、佐野洋子氏の作品の読み聞かせを含むトークイベントを 開催した。

〇 行事

赤ちゃんと楽しむおはなし会(毎月第2木曜日)

年間12回 参加者:延べ 265名

おはなし会(毎月第2・4日曜日)

年間24回 参加者:延べ 450名

TRCによるおはなし会

年間 2回 参加者:延べ 68名

赤ちゃんと楽しむおはなし会関連企画として、助産師さんによる子育てについてのアドバイス・相談の会「助産師さんとはなそう!」を毎奇数月に開催した。夏休み出前講座として、消費者生活啓発講師派遣事業」により徳島県栄養士会の出前講座を行った。また、親子で楽しむクリスマスおはなし会、あわっ子文化大使による司書体験講座(とくしまの民話の絵本と紙芝

居の読み聞かせ)、文化の森連携事業「図書館探検隊」「おはなし会」を開催した。

⑩「徳島県立図書館開館百周年記念~新たな100年へのキックオフ~」

平成29年度に開館100周年を迎えた県立図書館のさらなる100年のために、次世代の図書館利用者を育てるために、以下の催しを行った。

- ○鴨島ウィンドアンサンブル「親子で楽しむコンサート」 11月4日 13時から 童謡など子どもになじみのある音楽の演奏。また、指揮者体験コーナーなど参加型の催 しとした。 参加者137名
- ○徳谷章子氏講演会「子どもの居場所と図書館」 11月4日 14時半から 「子ども食堂」や子どもと貧困などの現代的な問題と図書館のかかわりについて 参加者 47名
- ○英語のおはなし会

3月26日 14時から

日本語を母語としない住民児童へのサービス、英語教育の低学年化にともなう英語絵本の読み聞かせの需要の増加、さらには、当館所蔵の英語を主とした外国語資料の利用促進のため、外国語特に英語でのおはなし会を開催した。参加者 29名

#### ① 広報

『こどもの本コーナーりようあんない』を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回『こどもの本コーナーだより』を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の県立図書館等に配布した。ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

# 4 図書館システム関係業務

- (1) 徳島県立図書館ホームページの運営 平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、随時更新している。
- (2) コンピュータ委員会

各担当から選出された11名でコンピュータ委員会を構成し、「とくしまネットワーク図書館」システムの運用などについての検討・作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び職員端末用ネットワークシステムの更新・運用作業も行った。

11月11日に資料検索講座を開催した。参加者は5名であった。

総務省「マイキープラットフォーム構想」の推進に関し、県地域振興課からの協力要請を受け、マイナンバーカードを図書館貸出カードとして利用する実証事業を、平成30年7月10日から開始した。当初の期間は平成31年3月31日までであったが、令和4年3月31日まで延長された。当委員会では「マイナンバーカード図書館利用小委員会」(6名)を設け、サービスの検討、実施に向けて取り組んだ。

(3) システム担当者会(随時)

文化の森 6 館の担当者の会議に出席。各館業務システム及び文化の森情報システム運用のための各種作業を行った。また、更新およびデジタルアーカイブシステムについての検討、各館の情報交換などを行った。

# 5 他機関との連携事業ほか

- (1) 課題解決サービス
  - ○健康・医療情報の提供

徳島県薬剤師会主催の「まちのお薬相談室」を平成28年6月より図書館1階で月2回 実施し、 平成30年度は98件の薬効や副作用についての相談が寄せられた。

また、平成20年9月末より図書館1階で月2回実施していた、徳島県看護協会主催の「まちの保健室」を平成30年度は380名が利用し、疾患や健康についての相談が寄せられたが、平成31年3月末で終了した。

平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、 パンフレット類を配架している。

6月26日から9月2日には、国立がん研究センターがん対策情報センターの「がん情報ギフトプロジェクト」により当館に寄贈されたパンフレット等を展示、11月27日から12月24日には、県保健福祉部医療政策課の臓器移植普及啓発の一環として「臓器移植普及啓発」の展示を、31年3月5日から24日までは、県保健福祉部保健福祉政策課の自殺対策啓発活動事業(パネル展)を行った。また、徳島大学附属図書館蔵本分館の医療関係の展示のポスターを掲示した。

#### ○しごと応援コーナーの充実

仕事に関する図書約800冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま(徳島県若年者就職サポートセンター)・ハローワーク徳島などと連携して、平成30年度は、205点の就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報などをも置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集・提供も行い、関係機関との連携強化を図った。また、ビジネス支援として、県内企業支援団体の協力で、企業支援関係や経営者向けセミナー等のチラシ・パンフレット類を配架している。

## ○行政支援

県議会事務局の依頼により、テーマ展示の本や調査レポート用の資料を選んで提供した。

#### (2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置している。平成30年度は、29件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する11件のチラシを配布した。また、7月26日に徳島県栄養士会の出前講座「食育講座:食に関する知識を知ろう」を開催した。

# (3) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。 生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(別表)

# (4) 文化の森連携事業

文化の森全館で5月5日に「こどもの日フェスティバル」、8月19日に「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森 大秋祭り」、2月11日に「文化の森ウィンターフェスティバル」を実施し、図書館では「おはなし会」「図書館探検隊」「しおりをつくろう」「大人のためのおはなし会」などを開催した。

#### (5) 大学図書館との連携

平成29年3月28日に締結した「国立大学法人徳島大学,国立大学法人鳴門教育大学,徳島県及び

徳島県教育委員会による図書館活動に関する協定」に基づき、以下の事業が実施された。

# 1. 交換展示ほか

- ①平成29年度に県立図書館で実施した「百周年企画展示「〈ベストセラー100年展〉」が、 平成30年9月3日から30日まで、鳴門教育大学附属図書館で、平成31年1月10日から2月11日ま で、徳島大学附属図書館で実施された。
- ②県立図書館「電子図書館」プラットフォームからの徳大図書館及び鳴教大図書館がデジタル化した画像データベースへのリンクアクセスを継続した。

# 2. 図書館職員の交流研修

- ① 徳島県図書館職員研修会への徳島大学附属図書館・鳴門教育大学附属図書館から、第1回 研修会徳大より1名、第2回研修会 鳴教大より1名、第3回研修会 鳴教大より1名の職員の参加があった。
- ② 図書館職員の相互訪問研修の実施

9月12日に、徳島県立21世紀館および徳島県立図書館で「電子書籍の提供サービスについて」の研修を実施、徳島大学附属図書館より5名、鳴門教育大学附属図書館より1名、県立図書館より9名が参加、各館の事例発表・情報交換・県立図書館見学を行った。

# 3. 徳島大学附属図書館の、学術講演会の実施への協力

- ①11月7日に徳島大学附属図書館で開催された学術講演会「吉野川洪水と明治以降の治水及びローテク防災術」を徳島市立図書館と共に共催、講演会で目録を配布した。
- ②共催展示として、県立図書館2階ブラウジングコーナー及び郷土資料コーナーで、10月10日から11月25日まで「第28回徳島大学附属図書館学術講演会共催展示吉野川洪水と明治以降の治水及びローテク防災術」のミニ展示を開催した。

## 4. 定例会の開催

平成30年度 徳島大学附属図書館・鳴門教育大学附属図書館と徳島県立図書館との定例会議 を、平成31年2月15日に、徳島県立図書館で開催、終了後、県立図書館見学を行った。

5. 平成28年8月から、鳴門教育大学附属図書館と徳島県立図書館による相互貸借を実施して おり、30年度は、貸出175冊、借り受け22冊だった。

#### 6. その他

県立図書館で、各館の利用案内やイベントのチラシの配布や、各館のポスターの掲示を行い、また、学術講演会の案内や大学の月刊誌を県下の市町村立図書館へ送付した。

# ◆ 平成30年度刊行物

①平成30年度 年報

②こども読書手帳

③平成30年度図書館カレンダー

④阿波学会紀要 第62号

350冊 (H30.6.1 発行)

20,000冊 (H30.6.11 発行)

30,000枚 (H31.2.1 発行)

300冊 (H31.3.1: 阿波学会)

# 講師の派遣

期日	会 場	講座内容等	派遣職員	参加者
5月31日	県立図書館	平成 30 年度海部郡読書振興協 議会総会講演「県立図書館 100 年史に見る海部郡の読書環境」	小松真幸・中本好彦	32
7月4日	県立二十一世紀館	シルバー大学校大学院講義	水上英俊・田村加代・ 松原美和・岩代友紀	32
7月11日	県立図書館	にもの会 県立図書館見学	宇山博子・小松真幸	8
7月25日	近代美術館	美術館でおはなし会	桂敦子・吉本満里	31
8月7日	県立図書館	徳島県高等学校図書委員研修会	宇山博子・生駒佳也 小松真幸	60
8月8日 10日	県立図書館	あわっ子文化大使 「図書館司書体験」	山本みち・立石忠徳 松原美和・岩代友紀	6
8月9日	県立図書館	四国大学生 見学 「図書館サービス概論」受講生	宇山博子・田村加代	11
8月17日 21日 22日	県立図書館	教職員初任者研修 「館内整理作業・レファレンス 業務・調べ学習の実習」	生駒佳也・小松真幸 中本好彦・今井順子 松原美和・髙橋律子 立石忠徳	4
10月3日	徳島県立障がい者 交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	今井順子・日髙文	11
10月4日	徳島大学常三島 キャンパス	日本事情Ⅱ 「美波町日和佐八幡神社秋祭り の地理的背景と歴史」 「秋祭に参加して意見交換会及び 後期の図書館との連携に関して」	生駒佳也	20
11月27日	徳島県立障がい者 交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	田村加代・日髙文	18

# インターンシップ

	学 校 名	日 時	参加者	内容
1	富田中学校	10月3日~4日	4	・児童サービス、レファレンスサービス、 情報支援担当業務の説明・実習
2	川内中学校	10月11日~12日	3	・図書の受入、整理 ・コーナーの図書整理、展示図書の集荷等
3	徳島大学	11月15日~16日	1	・ユニノニの凶音選呼、成小凶音の集制寺

# 学校教育との連携ー学校の授業・遠足・見学等による図書館利用ー

	学 校 名	日時	内 容	参加者
1	上八万小学校2年	5月11日	見学・おはなし会・自由閲覧	4 6
2	堀江北小学校1~3年	5月22日	見学・おはなし会・自由閲覧	6 3
3	鴨島小学校3年	5月24日	見学・おはなし会・自由閲覧	7 8
4	川内北小学校2年	5月25日	見学・おはなし会・自由閲覧	1 1 5
5	佐古小学校3年	5月25日	見学	7 8
6	津田小学校2年	10月23日	見学・おはなし会・自由閲覧	101
7	桑野小学校3年	12月15日	見学・おはなし会・自由閲覧	2 7
8	宝田幼稚園+大野幼稚園	11月 1日	見学・おはなし会	7 0
9	東かがわ市立大内小学校	11月 2日	見学・おはなし会・自由閲覧	6 1
1 0	助任小学校2年	11月 6日	見学・おはなし会	1 4 5
1 1	高原小学校2年	11月20日	見学・おはなし会・質問コーナー	4 0
1 2	八万南小学校2年	11月21日	見学・おはなし会	1 1 4
1 3	宮井小学校2年	1月24日	見学・おはなし会・自由閲覧	2 3
1 4	神領小学校2年	2月26日	見学・おはなし会・自由閲覧	1 6

参考:図書館資料充実費内訳(製本費等を除く)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
0	調査課			<u> </u>	
(1)	逐次刊行物	7,406,095	7,435,988	7,160,454	7,169,836
	資料購入(備品費)費用	2,241,236	2,290,693	2,003,522	1,977,185
	点数	264	244	232	209
	資料購入(需用費)費用	5,164,859	5,145,295	5,156,932	5,192,651
	雑誌種数	292	287	286	285
	新聞紙数	32	32	32	32
	官報	1	1	1	1
(2)	参考資料 (備品費)	3,365,040	3, 546,504	3, 783,910	3, 306,480
	参考図書費用	3,273,379	3, 424,596	3, 689,235	3, 255,614
	冊数	319	304	337	261
	特別集書費用	91,661	121,908	94,675	50,866
	冊数	25	31	35	19
(3)	郷土資料	1,539,544	1,449,906	1,353,103	1,208,341
	資料購入(備品費)費用	1,449,880	1,359,386	1,263,225	1,119,578
	図書冊数	592	691	575	471
	CD等点数	15	16	6	46
	資料購入(需用費)費用	89,664	90,520	89,878	88,763
	雑誌種数	5	5	5	4
	新聞紙数	1	1	1	1
0	資料課				
(1)	貸出用図書(備品費)	17,804,955	17,788,271	17,804,626	18,462,351
	一般資料図書購入費	17,292,568	17,252,578	17,304,815	17,973,681
	冊数	8,680	8,722	8,820	9,008
	視聴覚資料購入費	512,387	535,693	499,811	488,670
	点数	42	91	82	77
	団体貸出用購入費	1,854,778	1,846,023	1,841,396	1,840,298
	点数	164	204	289	199
(2)	児童関係資料	4,397,249	4,182,952	6,417,383	6,346,198
	資料購入(備品費)費用	4,138,859	3,924,562	6,144,134	6,137,981
	児童図書冊数	2,602	2,444	3,729	3,732
	紙芝居巻数	55	54	54	77
	CD等点数	1	0	1	0
	資料購入(需用費)費用	258,390	258,390	273,249	208,217
	雑誌種数	38	38	38	37
	新聞紙数	4	4	4	4
	図書資料購入費合計	36,367,661	36,249,644	38,360,872	38,333,504
<u></u>	図書購入費(備品費)	30,854,748	30,755,439	32,840,813	32,843,873

# 6 諸 統 計

# 〇現有図書資料(平成30年3月31日現在)

〈単位:冊〉

区分	館内	館外	こども	計	前年度末現在
分類					
0:総 記	121,607	1,586	7, 326	130, 519	128, 869
1:哲 学	60, 341	2,560	1,994	64, 895	64, 926
2:歴史	118, 287	5,064	7, 376	130, 727	130, 319
3:社会科学	312, 210	7,919	11, 169	331, 298	327, 719
4:自然科学	102, 958	5,052	14, 317	122, 327	121, 428
5:技 術	135, 305	3,060	5, 938	144, 303	143, 230
6:產業	83, 556	1, 449	2,745	87, 750	86, 899
7:芸 術	133, 981	4, 591	16, 969	155, 541	154, 577
8:言 語	23, 902	902	2,624	27, 428	27, 260
9:文 学	229, 595	34, 088	49, 369	313, 052	323, 280
童 話	13	2,062	14,668	16, 743	17, 616
絵 本	118	2, 523	72,089	74, 730	73, 905
その他	58, 992	853	4, 281	64, 126	63, 806
計 (冊)	1, 380, 865	71, 709	210, 865	1, 663, 439	1, 663, 834

# ○電子書籍(平成31年3月31日現在) 〈単位:冊〉

前年度末現在	年間購入冊数	合計冊数
197	286	483

# 〇利用者登録者数

区 分	
年間館内登録者数	3,326人
30年度末有効登録者数	*159,325人
団 体 貸 出(団体)	5 団体
読 書 会 文 庫 (団体)	11 団体

\*貸出利用可能な登録者数を記載

# ○県外相互貸借(平成30年度)

		四国内	四国外	国会図書館	その他	計
貸出	件数	3 1 6	3 0 5		2	6 2 3
貝山	冊数	5 5 6	457		2	1015
借受	件数	6 0	6 0	1 0	2	1 3 2
1百文	冊数	8 1	7 4	1 2	2	1 6 9

# ○図書貸出冊数 (平成30年度)〈単位:冊〉

区分		冊 数
	図書	525, 184
	洋書	1,639
個人貸出	視聴覚資料	19, 421
	逐次刊行物	38, 475
	その他	3,667
	小 計	588, 386
	図書館・図書館未設置	24, 424
協力貸出	町教育委員会	
	県立学校	2, 238
	小 計	26, 662
	団体貸出	474
団 体	県立病院貸出	1,000
	読書会文庫	971
	小 計	2, 445
貸出	総数	617, 493

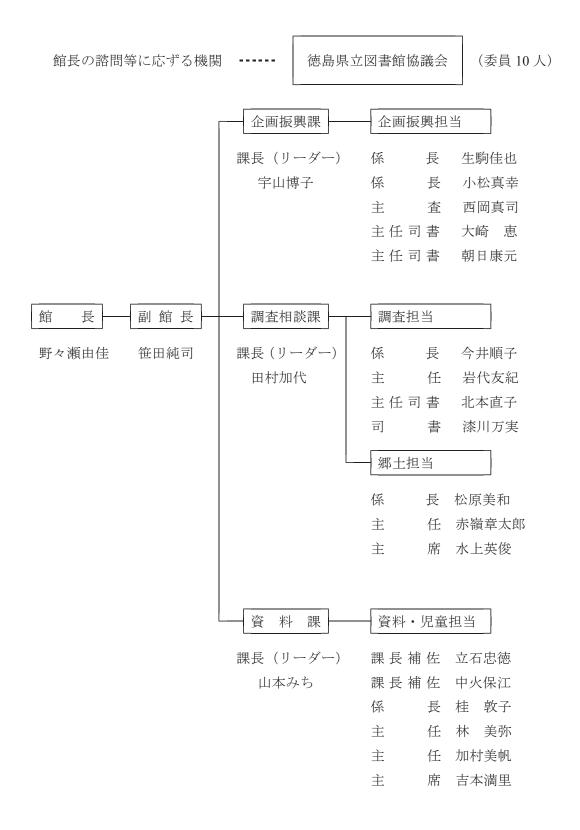
# **〇月別利用状況** (平成30年度)

〈単位:日・人・冊・回〉

	開館 日数	登 弱	大 者	貸出利	用者	貸出	冊 数	予約・	リクエスト				* 考 /	質問	/C - IIII -	四/
	(目)	月計	日平均	月計	日平均	月計	日平均	月計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料案 内	月計	日平均
4月	25	260	10	14, 104	564	48, 837	1, 953	2, 010	80	44	39	0	9	810	902	36
5月	26	291	11	14, 312	550	48, 231	1, 855	1, 981	76	44	33	10	3	907	997	38
6月	25	298	12	15, 165	607	51, 678	2, 067	2, 170	87	51	33	2	6	940	1, 032	41
7月	25	431	17	15, 679	627	54, 714	2, 189	1, 960	78	60	24	5	8	906	1, 003	40
8月	27	425	16	17, 144	635	58, 252	2, 157	2, 140	79	56	32	6	14	1, 164	1, 272	47
9月	24	260	11	14, 615	609	49, 196	2, 050	1, 792	75	38	33	5	10	988	1, 074	45
10月	25	246	10	14, 492	580	49, 150	1, 966	2, 216	89	36	27	5	6	958	1, 032	41
11月	25	231	9	14, 001	560	46, 753	1, 870	2, 089	84	35	28	5	12	827	907	36
12月	23	178	8	13, 585	591	45, 874	1, 995	2, 031	88	26	20	6	13	851	916	40
1月	19	209	11	12, 357	650	42, 863	2, 256	1, 848	97	26	18	0	7	700	751	40
2月	18	250	14	11, 512	640	39, 674	2, 204	1, 990	111	21	19	11	4	767	822	46
3月	26	247	10	15, 777	607	53, 164	2, 045	2, 367	91	33	23	5	6	918	985	38
合計	288	3, 326		172, 743		588, 386		24, 594		470	329	60	98	10, 736	11, 693	
平均	24	277	12	14, 395	600	49, 032	2, 043	2, 050	85	39	27	5	8	895	974	41

# IV 管 理

# 1 組織機構・職員(令和元年5月現在)



# 2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182 m²
- ◎ 延床面積 8,989.594 ㎡
- ◎ 構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

# <施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積(m²)	用途・分類	面積 (㎡)
<開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室(整理作業室)	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフラウンジ	60
カウンター	55	集会室 (大)	122
こどもの本コーナー	566	集会室(小)	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
 新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
   開架書架コーナー	355	更衣室(2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室(2)	17
研究室	23	倉庫(2)	84
撮影室	17		
エントランスホール	204	<機械・設備スペース>	[693]
ロッカーコーナー	69	機械室(5)	575
その他	389	電気室	92
<収蔵スペース>	[1,843]	ハロンガスボンベ室	26
館内書庫	1,434		
館外書庫	349	<その他>	[975]
貴重書庫	60	1 階エントランス	225
* 書庫は積層式になってい 3,626 ㎡ある。	いるため、実質	その他	750

# 3 沿 革

3 /i 早 「	T	_
年 月 日	事	項
大正5年7月24日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光陽	<b>憂図書館と称する。</b>
大正6年6月24日	開館式を挙行する。	
昭和20年7月4日	戦災により焼失する。	
昭和24年5月3日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と	さ称する。
昭和25年3月13日	火災により焼失する。	
昭和25年7月25日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、	館外奉仕活動を始める。
昭和25年12月1日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。	
昭和28年11月3日	館舎を再建し、館内奉仕活動を始める。	
昭和30年4月1日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。	
昭和37年3月18日	移動図書館車「やまなみ2号」を増車、やま	ミなみ1号・2号となる。
昭和41年7月24日	創立50周年記念式典を挙行する。	
昭和43年4月1日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立	Z図書館規則が定められた。
	会計規則の一部改正により、憲法記念館から	の県立図書館に改名された。
昭和45年3月31日	徳島県立図書館規則が廃止され,徳島県立図割	書館管理規則が定められた。
昭和51年7月14日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ2	2号」を新設する。
昭和52年7月28日	創立60周年記念大会を挙行する。	
昭和55年1月7日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建	設を中核とした「文化の森」
	構想を発表する。	
昭和57年3月23日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決	や定された。
昭和59年5月9日	図書館基本構想検討委員会が発足する。	
昭和61年3月10日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。	
昭和62年3月10日	文化の森各文化施設の実施設計が完了する。	
昭和62年6月25日	創立70周年記念講演会を挙行する。	
昭和62年7月14日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。	
昭和63年2月1日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書	館事業の廃止による。)
平成元年10月31日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。	
平成2年4月1日	文化の森図書館へ移転のため休館する。	
平成2年11月3日	文化の森図書館として新築開館する。	
平成7年10月17日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラー	-でみる戦後展」を開催する。
平成12年10月20日	文化の森開園10周年記念「世紀末大博覧会	≷」を5館共同で開催する。
	図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当す	る。
平成17年10月22日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと	再発見- 15 の人・もの・場
	所」を5館共同で開催する。図書館は、「岡本	韋庵」の展示等を担当する。
平成22年2月16日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成す	一る。
平成22年11月23日	文化の森開園20周年記念展「軌跡」と記念	:行事「文化の森大秋祭り!」
	を5館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワー	ークショップ等を担当する。
平成23年4月1日	貸出カウンターの業務委託を行う。	
平成27年9月18日	文化の森開園25周年記念事業を「ヒトガタ	マをめぐる冒険」を6館共通
	テーマとして実施。図書館は企画展「ひとが	ば想い描いたヒト」、「アニメ
	その歴史と未来」展を開催する。	
平成29年11月5日	創立 100 周年記念式典・講演会を挙行する。	
平成30年4月23日	子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表	長彰を受賞する。

# 4 歴代館長

就任年	月 日	館	 長	館長事務取扱
大正 5 年 7 大正 5 年 1 1 大正 6 年 3 大正 6 年 1 0 大正 1 0 年 3 大正 1 0 年 3	月 26 日 月 6 日 月 31 日 月 10 日 月 17 日 月 31 日	岩瀬	亀 之 進	県 内 務 部 長 亀 井 光 政 県 内 務 部 長 亀 井 光 恒四郎 県 学 務 課 長 確 野 千太郎 県 学 務 課 長 竜 瀬 亀之進
大正 13 年 12 大正 13 年 12 大正 14 年 1 大正 15 年 8 昭和 2 年 2 昭和 13 年 9	月 6 日 月 20 日 月 9 日 月 26 日 月 14 日 月 22 日	坂本田	章 三 大	県学務課長 鈴 木 省 吾 県内務部長 小 島 庄 吉 県学務課長 松 本 三 郎 県社会教育主事 栖 崎 善 一
田和 1999999999999999999999999999999999999	月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月日日日日日日日日	大岡原蒲藤上竹喜高石近岩岸芝山谷島田池居原田田井堂藤佐 下	幹幹武正信浩俊泰静廣俊健 正博男雄夫夫雄一一臣雄光夫二司裕之	県青年教育課長 沖 田 武 雄
平444 <td< td=""><td>月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月</td><td>日中武米大小福松今桐早 桑上野川市澤平田島平﨑本見 村野</td><td>精 靖明隆啓 義憲 秀二巖正二宏昭治清聰春一 誠樹</td><td>近代美術館長 阿 部 修 三</td></td<>	月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月	日中武米大小福松今桐早 桑上野川市澤平田島平﨑本見 村野	精 靖明隆啓 義憲 秀二巖正二宏昭治清聰春一 誠樹	近代美術館長 阿 部 修 三
平成 21 年 4 平成 22 年 4 平成 25 年 4 平成 27 年 4 平成 27 年 5 平成 28 年 4 平成 29 年 4 平成 29 年 5	月1日月1日月1日月1日月1日月1日	中林青吉 槇松町野	忠善志 正 豊由良章行学 明博治佳	二十一世紀館長 中 瀬 敬 一

# V 平成30年度行事記録

# 1 集 会 行 事

期日	集会名	講師・出席者等	内 容 等	人員
4月28日	阿波学会総合学術調査中間報告	各班代表者	総合学術調査中間報告と 質疑応答	43
4月28日 ~ 5月7日	平成30年度阿波学会総合学術調査(三好市)	各班調査員	13学会13班が三好市内の学 術調査を実施	139
5月5日	こどもの日のおはなし会 (文化の森こどもの日フェスティバル)	児童担当	絵本の読み聞かせなど	20
5月10日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	30年度役員、読書振興大会、 理事会・総会について	7
5月11日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	29年度事業報告・決算、 30年度事業計画・予算	25
6月8日	第1回徳島県図書館職員研修会	講師: 水上 英俊 氏 金原 祐樹 氏	講義 「初任者研修」 「郷土資料の収集と活用 について」	55
6月10日	初めての方のための読み聞かせ 講座	講師: 渡邊 美惠 氏	絵本の読み聞かせについて の講義とワークショップ	20
6月20日	徳島県読書振興協議会理事会 総 会	理事	29年度決算、30年度事業計画、 県下各地の読書推進報告	理 23 総 35
6月22日	阿波学会理事会 評議員会	理事 評議員	29年度決算,30年度事業計画について	理 13 評 28
7月6日	阿波学会第1回編集委員会	編集委員	紀要第62号の内容と編集 日程について	15
7月13日	第2回徳島県図書館職員研修会	講師: 中井 孝幸 氏 横田 幾代 氏	講義・演習1 「災害から利用者を守る一 安全な図書館を目指して一」 講義2 「地震から命を守るために」	45
7月26日	夏休み出前講座 「食育講座: 食に関する知識を知ろう」	講師: 髙橋 保子 氏	小学3年~6年対象 元気をつくる食生活に ついて学ぶ	12
8月8日	あわっ子文化大使 (図書館司書体験講座)	郷土担当 児童担当	図書館司書の専門的仕事を体験しながら地元への関心や郷土への愛着を持ってもらう	6
8月19日	夏のおはなし会 (文化の森サマーフェスティバル)	おはなし会ボラン ティアスタッフ	紙しばいや絵本の読み聞 かせなど	72
8月19日	図書館探検隊 (文化の森サマーフェスティバル)	児童担当	小学3年生以上対象 図書館の事務室・書庫など ふだん入れない場所を案内	32
8月26日	子どもの読書研究会	講師: 景山 聖子氏	絵本が子どもの人生を変え る一佐野洋子作品の実演と ともに一」	25
8月26日	おはなし会スタッフミーティン グ	おはなし会 ボランティア	29年度おはなし会実施状況について	7
8月30日	阿波学会臨時役員会	会長・副会長	31年度役員体制について	5
9月 5日	徳島県読書振興協議会優良読書 グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書 グループ推薦団体を選考	7

期日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
9月 7日	第3回徳島県図書館職員研修会	講師: 明定 義人氏 佐藤 和久氏 谷上 良子氏	講義: 「児童サービスの実務ー 児童書の選書、学校図書 館との連携等についてー」 事例発表: 海陽町立図書館	52
		岡智子氏	海陽町立図書館鳴門市立図書館	
9月12日	図書館職員相互訪問研修	徳島大学附属図書 館・鳴門教育大学 附属図書館・県立 図書館職員	事例発表: 「電子書籍の提供サービ スについて」	15
9月13日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究 • 研修委員	30年度図書館大会について、研究テーマについて	9
9月26日	阿波学会第2回編集委員会	編集委員	各論文の査読割当と口絵 編集について	14
10月24日	阿波学会第3回編集委員会	編集委員	査読結果報告と口絵編集 について	13
10月26日	徳島県読書振興大会 (松茂町大会) 松茂町総合会館	講師: 新 孝一 氏	大会テーマ 「愛読書は未来の子らに」	130
11月3日	あきのおはなし会 (文化の森大秋祭り)	県立図書館おは なし会ボランテ ィアスタッフ	絵本の読み聞かせをはじ め、楽しいおはなしなど	42
11月3日	しおりをつくろう (文化の森大秋祭り)	講師: 今井 順子	型紙に色をぬって、自分だけのしおりを作る。	66
11月4日	県立図書館開館百周年 アフターイベント	鴨島ウインドア ンサンブル	「親子で楽しむコンサート」	137
11月4日	県立図書館開館百周年 アフターイベント	講師: 徳谷 章子氏	講演 「子どもの居場所と図書館」	47
11月11日	資料検索講座 会場:21世紀館情報文化実習室	講師: 中本 好彦	テーマ:作家名で探そう 〜読みたい作家の著書から	5
11月28日	阿波学会第4回編集委員会	編集委員	修正原稿校正と印刷発注 等について	13
12月 5日 ~ 12月11日	文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) 会場:近代美術館ギャラリー		県立図書館所蔵の人権関 係資料・識字関係資料を 展示	382
12月6日	MieNa(ミーナ)活用講座	講師: 三谷 利恵 氏	エリアマーケティング・ 商圏分析に役立つデータ ベースMieNaの活用 方法について	15
12月7日	協力業務実務担当者会	市町村図書館職員ほか	とくしまネットワーク図 書館及び県下の公共図書 館の協力業務・相互貸借 について	33
12月8日	クリスマスおはなし会	四国大学学生グループ	絵本の読み聞かせ、工作、 クリスマスの本のブック トーク、工作など	48
1月18日	徳島県立図書館協議会	協議会委員	29年度事業実績について 30年度事業の実施状況に ついて 他	22

期日	集会名	講師・出席者等	内 容 等	人員
2月11日	大人のためのおはなし会(文化の 森ウィンターフェスティバル)	とくしまお話を語 る会「出前の会」	大人のためのおはなし会 〜明日への出発〜	49
2月11日	ふゆのおはなし会 (文化の森ウィ ンターフェスティバル)	児童担当	わらべうた、紙芝居、絵 本の読み聞かせなど	27
2月11日	おはなし会スタッフミーティン グ	おはなし会 ボランティア	表彰伝達/2019年度おは なし会実施予定について	12
2月15日	徳島大学附属図書館・鳴門教育 大学附属図書館と徳島県立図書 館との定例会	徳島大学附属図 書館・鳴門教育 大学附属図書館 ・県立図書館	平成30年度実施事業報告 2019年度実施事業計画	15
2月22日	徳島県図書館大会 テーマ: 「すべての人に開かれた 図書館へ」	講師: 泰子氏 講師: 綾野 昌幸氏	講演: 「公共図書館における障害者サービス〜名古屋市図書館の事例から」報告: 「地域の交流拠点となる図書館」	53
2月28日	徳島県公共図書館協議会 第3回研究・研修委員会平成	研究・研修委員	来年度の研修会について	8
3月16日	29・30年度三好市総合学術調査報告会 於:三好市保健センター	阿波学会各班 三好市教育委員 会/一般参加者	調査報告会	54
3月16日	阿波学会臨時理事会	理事	来年度の調査と役員体制について	11
3月26日	英語のおはなし会	児童担当	英語の絵本の読み聞かせ や英語の手遊びなど	29

# ○ 共催集会行事 まなびの森講演会(年12回:放送大学徳島学習センターと共催)

期日	講演	講師	内 容 等	人員
4月21日	百年前、徳島市にド イツ兵捕虜がいた	川上 三郎 氏	徳島収容所の当時のエピソードを 収容所新聞から紹介	54
5月26日	徳島中央公園の設計 理念と変遷	佐藤 征弥 氏	徳島中央公園の設計理念や変遷、 城山に息づく自然保護思想などに ついて	35
6月16日	モラエスの「終の棲家」 って、こんなとこ	近藤 文子 氏	大正2年の夏からの徳島・伊賀町 でのモラエスの隠遁生活について	84
7月7日	財政からみる徳島の 姿	石田 和之氏	財政から見た徳島県はどのような 姿をしているかについて	27
9月1日	地震・津波から如何 にして命を守るか	後藤田洋次氏	過去の南海地震とともに、最新技 術を用いた取り組みを紹介	29
9月22日	まちづくりはどこへ 向かうのか	田口 太郎 氏	まちづくりの目指すべき方向性に ついて	39
10月27日	蜂須賀治昭の寛政改 革と地神祭の特質	坪内 強 氏	徳島の地神信仰と蜂須賀治昭の寛 政の改革について	52
11月24日	世界的偉人賀川豊彦 の故里は徳島県	田辺 健二 氏	「近代日本随一の人物」と評され た賀川豊彦について	38

期日	講演	講師	内 容 等	人員
12月15日	板東俘虜収容所につい て-松山と比較して-	井戸 慶治 氏	松山収容所の概要と板東俘虜収容 所の独自性について	36
1月19日	近世阿波における庶 民の読書	野澤 新治 氏	近世後期の阿波の庶民の読書生活について	35
2月16日	四国遍路の魅力を世 界に伝えたオリヴァ ー・スタットラー	モートン常慈 氏	ハワイ大学教授オリヴァー・スタットラーの四国遍路研究への取り 組みについて	66
3月9日	東京電力福島第一原 発事故が残したもの	中山信太郎氏	東京電力福島第一原発事故の経過 とその後の福島を振り返り、原発 災害について	48

計 543

# 展示事業

期間	展示名	展示内容
5月8日 ~ 6月3日	「読んでみん?みんなのすすめる本 ーとくしまの子どものためのブックリスト100 コメント・POP受賞作品展-」	平成29年に徳島県教育委員会が募集した「とくしまの子どものためのブックリスト100」掲載本のコメントとPOPを、本とともに展示。
6月5日 ~ 8月5日	神戸淡路鳴門自動車道全通20周 年「夢の架け橋ができるまで」展	本四架橋構想の始まりから明石海峡大橋開通までの歴史を、当館の特別集書「橋と川」と郷土資料で紹介。
8月7日 ~ 9月30日	「図書委員が選ぶ、部活の本」 (徳島県学校図書館協議会高校部会と の共同企画展示)	県内高等学校の図書委員が、部活に ついて考え、感動した本や、お薦め めの本を紹介。
10月2日 ~11月25日	「地図の中の徳島」	文字の歴史より古いとも言われる地図 の歴史、変わりゆく徳島の姿を地図と 本で紹介。
11月27日 ~ 2019年1月27日	「明治維新150年~幕末を舞台 にした歴史小説~」	明治維新の契機となったとされる〈黒船来航〉から、明治への改元前夜の〈戊辰戦争〉までを、主な時代背景とした当館所蔵の歴史小説を紹介。
2月8日 ~ 4月21日	「とびだす! うごく! しかけ絵本の世界」	児童書庫に保存されているしかけ絵本 およびその内容を写真撮影したものを 展示し、図書館にさまざまな形態の本 が収蔵されていることを知らせる。

交換展示

百周年企画展示「ベストセラー100年展」 平成30年9月3日 (月) ~9月30日 (日) 平成31年1月10日 (木) ~2月11日 (月)

鳴門教育大学附属図書館 徳島大学附属図書館

# 他機関主催展示

期間	展示名(主催)	展示内容	場所
6/26~ 9/2	「がん情報ギフト」と がん関連資料 (国立が ん研究センター)	国立がん研究センターがん対策情報センターの「がん情報ギフトプロジェクト」により、当館に寄贈されたパンフレット等を展示	2階一般 資料コー ナー
11/27~ 12/24	臓器移植普及啓発展 (県保健福祉部医療政 策課、徳島県臓器移植 コーディネーター)	10月の「臓器移植普及推進月間」に合わせて、臓器移植に関する冊子・図書及びポスター等を展示。	2 階一般 資料 コーナー
2019年 3/5~24	いのちを大切にしよう パネル展 (県保健福祉部保健福 祉政策課)	3月の「自殺対策強化月間」に合わせて、自殺予防に関するパネルや「心あたたまるパワーフレーズ」作品及び広報ポスターを展示	1 階南側

## 平成30年度 ミニ展示

ミニ展示コーナー (検索コーナー横)

期間	テーマ
3/27~4/15	新年度を「新書」で!
4/17~5/27	神戸淡路鳴門自動車道全通20周年
5/29~6/24	童謡100年
6/26~7/29	徳島県男女協調週間(ときわプラザ紹介)
7/31~8/30	夏!甲子園
8/31~9/30	日本の世界遺産
10/2~10/31	いわさきちひろ 生誕100年
11/1~11/25	ストップ! 糖尿病
11/27~12/24	臓器移植普及啓発
12/26~1/27	新年を「新書」で!
2/8~3/3	自然災害に備えよう!
3/5~3/24	心と体を健やかに!

## しごと応援コーナー

期間	テーマ
12/26~4/22	あの企業の一面を知る!CSRレポート展
4/24~7/1	ビジネスのひらめきは雑誌から
7/3~9/24	ビジネス書大賞2010-2018
9/26~11/25	読むハローワーク お仕事小説
11/27~3/3	マーケティング入門
3/5~5/15	守って活かす!知的財産

### 郷土資料コーナー

加工貝们中	<u>′</u>
期間	テーマ
3/6~4/18	活躍する徳島県人 2017年の出版物より
4/20~5/27	トクシマヲアソブ
5/29~6/30	徳島の橋
7/1~7/31	舞台は徳島
8/1~8/31	妖
8/17~9/30	二度の大戦と徳島
10/2~11/25	地図の中の徳島
11/27~12/28	明治維新と徳島
1/5~1/27	徳島の寺社+
2/8~2/24	徳島の若い力
2/26~4/3	富岡西 野球のまちから甲子園へ
2/26~3/17	徳島から! 徳島発の企業史・企業情報
3/19~4/23	活躍する徳島県人 2018年の出版物より

#### ブラウジングコーナー

期間	テーマ
11/5~9/2	100年たっても読みたい本 (100周年関連展示)
6/26~9/19	「がん情報ギフト」とがん関連資料
7/1~7/29	藍推進月間
7/31~8/31	マナーアップ
9/21~	電子書籍閲覧サービスKinoden
10/10~11/25	第28回徳島大学附属図書館学術講演会 共催 展示 吉野川洪水と明治以降の治水及びロー テクは気後

ブックトラックによるミニ展示

期間	テーマ
4/3~5/16	春のおかずとお弁当
4/24~4/28	追悼・加藤廣
5/18~6/20	イヌ派?ネコ派?○○派?
5/29~6/17	追悼・津本陽
6/22~9/4	暑さを乗り切る夏の料理
8/30~9/9	追悼・さくらももこ
9/5~10/17	『別冊太陽』で日本の偉人を知る
10/19~12/2	秋をたべる秋をたのしむ
12/4~12/28	年末年始
1/5~1/27	追悼・和久峻三
1/5~2/24	ぽかぽか鍋料理
1/16~1/27	追悼・梅原猛
2/8~2/13	追悼・堀文子
2/8~2/26	追悼・橋本治
2/13~3/3	追悼・堺屋太一
2/26~3/10	追悼・ドナルド・キーン
2/26~3/21	はな・花・春の花
3/23~4/7	入園・入学準備

### こどもの本コーナー (毎月の本)

期間	テーマ
4月	「ともだち」の本
5月	「みどり」の本
6月	「かぞく」の本
7月	「うみ」の本
8月	「夏だ~っ!!」の本
9月	「おいしい秋」の本
10月	「どうぶつえん」の本
11月	「としょかんへいこう」の本
12月	来年は亥年~イノシシとブタの本
1月	「ふたり」の本
2月	はるとはなの本
3月	入園・入学の本

	コーナー内ミニ展示
期間	テーマ
3/29~6/9	祝・角野栄子
4/3~3/31	県立図書館100周年を記念して子どもの本を充実させます
4/17~5/16	こども読書週間のための本
4/20~6/26	阿波銀行寄贈
5/8~6/28	追悼・かこさとし
5/29~7/6	あめの本
6/19~8/31	平成30年度読書感想文課題図書(小学生の部)
7/6~7/26	食育の本
7/6~7/31	夏休み自由研究の本
7/27~9/2	佐野洋子の本
9/1~12/16	石井桃子とかつら文庫
10/2~10/31	ハロウィンの本
11/16~12/24	クリスマスの本
11/27~1/27	阿波銀行寄贈
12/19~12/27	生命本協会寄贈
1/4~1/24	「とくしま子どもの本のブックリスト100Pop&コメント募集

## VI 電子図書館サービスの提供について

#### 1. 電子図書館サービスの現状

電子図書館サービスにおける電子書籍は、自宅のパソコンなどで資料閲覧ができる非来館型サービスや読書支援機能の提供など読書や調査研究の新たなスタイルを生み出すものとして期待されている。全国の公立図書館では83館が導入、県内では徳島市立図書館、阿南市立図書館が導入している。多くの館が貸出機能を主としているが、当館では、大阪市立図書館と同じく、学術書・専門書を中心とした図書館向け電子書籍サービスを利用し、課題解決に役立つ電子書籍閲覧サービスを目指している。また、電子図書館サービスには、郷土関係のデジタル資料を提供するデジタルライブラリがある。

#### 2. 電子書籍閲覧サービスの開始

県立図書館の役割は、県内のどこでも、いつでも、同じサービスを提供することであり、とくしまネットワーク図書館システムによって県内の全ての自治体に資料提供できる体制が整っている。しかし、課題解決に役立つ資料、辞書・事典・図鑑など調べものに使われる参考図書は、各市町村図書館まで一週間の提供となっており、このような問題を解決するためのサービスとして、平成30年4月より紀伊國屋書店学術電子図書館KinoDenを利用した「とくしま電子図書館 電子書籍閲覧サービス」を開始した。事典・辞書・図鑑などを中心とした貸出を主眼としない課題解決型のリサーチライブラリを目指してコンテンツの充実を図っており、平成31年3月現在のコンテンツ数492点(『徳島県史』などを含む)である。利用者は、自宅や外出先で24時間自分の調べたい資料にアクセスすることができ、各コンテンツの全文検索のほか本文の印刷も可能となっている。また、辞書・図鑑などのコンテンツが県内市町村立図書館の調査相談(レファレンス)に活用されることで、市町村立図書館へのレファレンスサービスの支援に結びつくものと思われる。



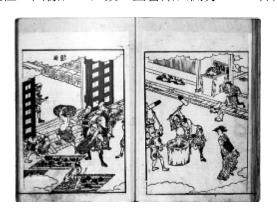
#### 3. デジタルライブラリ

電子図書館には、図書館が所蔵する郷土関係のデジタル資料を提供するサービス、デジタルライブラリがある。県立図書館において地域資料の収集・保存は重要な役割であるが、保存するだけでなくより見やすい形での資料提供とともにそれを後世に伝えていくこと、また地域文化を発信するという新たな機能を備えることも大きな課題となってきた。これまでも

絵図や古文書、研究報告書などのデジタル資料をホームページ上において公開してきたが、これらを更に使いやすい形で提供すると共に、全国的に広く閲覧してもらえるように、デジタルアーカイブの検索・閲覧を行うためのプラットフォームシステムADEACを利用しコンテンツを載せている。(平成31年3月現在の画像データ数 図書館公開分 256件)



ADEACに公開 『阿波国地図』



ADEACに公開 『阿波名所図会 上』の「藍玉」

### 4. 電子図書館サービス 今後の課題など

平成30年4月より開始された電子書籍閲覧サービスの利用統計は、平成31年3月末で閲覧数1,344件となっている。館外からのアクセスには、ホームページ上のMyライブラリの登録が必要となるため、Myライブラリの利用促進を図っていきたい。電子書籍の収集については、県立図書館の役割を踏まえ、課題解決に結びつくような資料として、辞書・辞典・図鑑、専門書類のほか、地方創生・就職・起業・育児・介護・災害などライフステージや県民課題に関係するもの、プログラミングの学習に役立つ雑誌も収集しており今後も県民の課題を念頭におき収集していく計画である。また、現在、『徳島県史』などがコンテンツとして入っているが、可能な限りデジタル化された地域資料の提供も行っていきたい。

最も大きな課題は、やはり予算を含めサービスの継続性である。県立図書館においては、個々の様々な読書環境を越えて多面的なサービスを展開していく必要があり、そのひとつとして、電子書籍の活用が期待されている。より利用されるサービスとして認知されるためには、新しい読書形態の提供や調査研究への支援方法としての利便性をあらゆる機会において広報すること、県民や各機関の潜在的なニーズについての情報収集も継続的に行っていくことが必要である。電子書籍には、著作権の問題や読書支援につながる音声読み上げ機能の充実など課題も多い。電子書籍のラインナップや機能拡充についても電子書籍提供企業に要望するなどより使いやすい電子書籍閲覧サービスを目指したい。

また、令和2年に文化の森開園30周年を迎えるにあたり、平成30年度から「文化の森デジタルアーカイブ構築事業」を進めており、既存のデジタルライブラリがより充実される予定である。平成30年度は「阿波国文庫」を文書館とともにADEACに挙げることとなった。今後、ADEACを用いたインターネットによる文化の森各館のデジタルアーカイブの統合提供、文化の森内デジタルアーカイブ閲覧システムにおける各館の端末からの統合閲覧などが計画されている。文化の森内の類似資料をまとめて閲覧できるなど貴重な資料へのアクセスの利便性を図り、展示事業において文化的な資料に触れる体験を提供するなど所蔵資料を最大限に活かした取り組みを継続していきたい。

## <データで見る徳島県立図書館の現状>

年度	H26	H27	H28	H29	H30	
開館日数(日)	286	288	288	288	288	
入館者数(人)	431,457	447,338	430,379	420,415	440,303	*累計14,098,174
						人、H17から平日火~
						金は19:00まで開館
登録者数(人)	3,478	3,806	3,687	3,291	3,326	*累計159,325人
						(有効登録者数)
個人貸出冊数(冊)	593,299	610,566	586,348	599,113	588,386	
協力貸出冊数(冊)	20,157	19,996	19,282	19,344	24,424	* 市町村立図書館等
						への貸出(図書館未設
						置は教育委員会へ)
高等学校•支援学校図	2,229	2,650	2,197	2,918	2,238	*県立学校図書館へ
館協力貸出冊数(冊)	(22校)	(22校)	(22校)	(21校)	(24校)	の貸出(利用校数)
県外相互貸借冊数(冊)	1,600	1,641	1,473	1,315	1,184	
(内、貸出冊数)	(1,353)	(1,415)	(1,225)	(1,102)	(1,015)	
リクエスト件数	21,577	22,213	21,675	23,597	24,594	
レファレンス件数	13,151	12,679	11,386	10,606	11,693	
蔵書冊数(冊)	1,182,650	1,194,150	1,205,128	1,193,485	1,184,121	*雑誌・視聴覚資料を
						除く
購入図書(冊)	13,305	12,701	12,550	14,071	13,976	*雑誌・視聴覚資料を
						除く
雑誌購入種数	338	336	331	325	326	*官報1を含む
新聞購入種数	37	37	37	36	37	
資料充実費(千円)	35,305	37,155	37,155	39,155	39,155	*H29からは、「子どもの
内、図書購入費(千円)	29,000	30,855	30,855	32,850	32,850	本充実枠」事業を含む
人口1人あたり図書購	37.90	40.65	41.07	44.10	44.52	
入費(円)						
人口1人あたり貸出数	0.78	0.80	0.78	0.80	0.80	
(∰)						
人口1人あたり蔵書数	1.55	1.57	1.60	1.60	1.60	
(冊)						
県人口(人)	765,247	759,047	751,280	744,837	737,939	*県人口は、「徳島県
						推計人口」当該年度4
						月1日時点の推定人口

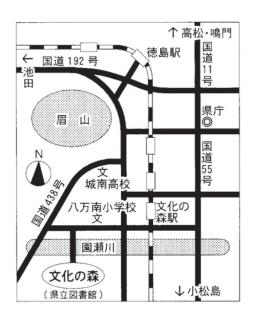
## 徳島県内市町村立図書館一覧

(横断検索可能館)

			1英四11天东 71 化品/		
	図書館名	住所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始·特別整理期間以外)
4	—————————— 徳島市立図書館	₹770-0834	088-654-4421	9:00~21:00	第1火曜
1		徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4423		
	鳴門市立図書館	〒772-0011	088-685-0255	9:00~19:00	火曜・第1金曜
2		鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-686-6589		
	生涯学習センター	〒773-0001	0885-32-1100	9:30~18:00	月曜
	小松島市立図書館	小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-7188	0 00 10 00	第3金曜
	阿南市立	<b>〒</b> 774−0011	0884-23-2020	9:00~18:00	月曜・祝日・月末
4	阿南図書館	阿南市領家町本荘ケ内121	0884-23-6814	土・日 9:00~17:00	
		〒779−1235	0884-42-3111	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
5	那賀川図書館	阿南市那賀川町苅屋308-1	0884-42-3299	10:00 10:00	
		〒779-1101	0884-44-2100	10:00~18:00	月曜・祝日の翌火曜
6	羽ノ浦図書館	阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2099	10.00 -10.00	月末 (土日月の時金曜)
	吉野川市立	〒779−3404	0883-42-5222	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
7	山川図書館	吉野川市山川町北島19-7	0883-26-4101	10.00 - 18.00	
		〒779-3303	0883-25-3141	10:00~18:00	水曜・祝日・月末
8	川島図書館	吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-5382	10.00~18.00	
	阿波市立	<b>〒</b> 771−1703	0883-35-5101	9:00~19:00	月曜・月末
9	阿波図書館	阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5109	9:00~18:00 (10~3月)	
		₹771-1602	0883-36-6455	9:00~19:00	月曜・月末
10	市場図書館	阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6456	9:00~18:00 (10~3月)	74.m /4/1
	11 77 - 11 - 11	₹771-1506	088-695-5385	9:00~19:00	月曜・月末
11	土成図書館	阿波市土成町土成字漆畑220	088-695-5515	9:00~18:00 (10~3月)	建替で休館中
		〒771-1402	088-696-4686	9:00~19:00	月曜・月末
12	吉野笠井図書館		088-696-5139	9:00~18:00 (10~3月)	)1.i.E
		〒779-3602	0883-53-9666		火曜
13	美馬市立図書館	美馬市脇町大字猪尻字西分116-1	0883-53-6190	9:00~19:00	第3木曜
10		〒778-0003	0883-72-2781		水曜
14	中央図書館	三好市池田町サラダ1836-1	0883-76-0514	10:00~19:00	八八甲世
11	一八四日和	〒779-4802	0883-78-4311		火曜
15	井川図書館	三好市井川町岡野前64	0883-78-4305	10:00~19:00	八甲
		〒771-4305	0885-42-2300		月曜・月末
16	勝浦町図書館	勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-4900	9:30~18:00	力唯一万小
		〒771-4101	088-679-2817		土曜・日曜・祝日
17	佐那河内村立図書館	4771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2173	8:30~17:00	上唯 口唯 7儿口
		〒771-6403	0884-68-2226	9:30~18:00	
18	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	± 9:30~17:00	日曜・祝日(5/4除く)
-	<b>主波町日和佐図書</b>	〒779-2305			日曜。知日
	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733		月曜・祝日
			0884-77-0845 0884-72-2300	土・日 10:00~17:00	月曜・第3木曜
20	牟岐町立図書館	海部郡牟岐町大字川長字新光寺82		10:00~18:00	万唯・弟3个唯 祝日
-		7年	0884-72-3301 0884-73-3591		月曜・祝日・月末
21	海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1		10:00~18:00	刀唯"似山"月不
41	191111201111111111111111111111111111111		0884-73-3551 0884-76-1030		月曜・祝日・月末
22	宍喰図書館	〒775-0501		10:00~18:00	月唯・仇口・月木
		海部郡海陽町宍喰浦字宍喰375	0884-76-1040		
23	松茂町立図書館	〒771-0220 振駆那松茶町内真字皿妥琳6-1	088-699-8722	10:00~18:00	月曜・月末
		板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8784		口咽
0.4	北島町立図書館	〒771-0207	088-698-1100	10:00~18:00	月曜・第3木曜
24		板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1180		祝日(土日の時は開館)
0.5	藍住町立図書館	〒771-1202	088-692-0070	10:00~18:00	月曜・祝日
25		板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0170		第3木曜
	板野町文化の館	〒779-0108	088-672-5888	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
26	図書館	板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5999		
	東みよし町立図書館	〒779−4702	0883-82-1150		火曜・木曜
27	,, <del></del>	三好郡東みよし町西庄字横手51	同上	10:00~17:30 (10-3月)	祝日・月末(土・日除く)

## 徳島県立図書館案内図

- JR徳島駅から/徳島市営バス・徳島バス利用(約25分)
- JR牟岐線文化の森駅から/徒歩(約35分) バス利用(7分)



### 開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで ------ 午前9時30分から午後7時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日(振替休日を含む。) ------ 午前9時30分から午後5時まで

### 休 館 日

- ・ 月曜日 ただし、国民の祝日(振替休日含む)のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第3木曜日(国民の祝日にあたるときは、その翌日)
- 年末年始
- ・ 特別整理期間(年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで)
- 臨時休館日

## (3) 個別申例

# ①全県民へのサービス展開

県立図書館は、県民が必要とする資料・情報が提供できる図書館として、仕事探しな どの課題解決への支援や子どもを取り巻く読書環境の充実、図書館利用に障壁を感じる 多様な人々が共生する社会の実現に向けた環境整備を進めます。

# ライフステージに沿った資料収集とサービス提供

仕事・子育て・健康など、県民の暮らしの中で関心の高いテーマに関する資料を積 極的に収集するとともに、県民が抱える課題解決に役立つ展示やコーナーの設置など、 県民のライフステージに沿ったサービスを提供します。

# b 子どもの読書活動の推進

機会が提供できる体制づくりを進めます。また、子どもの読書を支援する立場にある 幅広い児童書の収集や求める資料に出会える場の構築、豊富な保存資料と県内図書 館のネットワークを活用したサービスの展開などにより、子どもたちに幅広い読書の 保護者を含めた大人を対象とした読み聞かせや調ベ学習に役立つ資料や情報も提供 します。

# 図書館利用に障壁を感じる人を一人でも少なくする取組み

人に対する理解を職員が深めるとともに、大活字本やデイジー図書等(\*)の収集や 障がいがある人や高齢者など、何らかの理由により図書館を利用しにくいと感じる 分かりやすい館内表示などによる環境改善に努め、全ての県民に開かれた図書館を目





ディジー図書等の提供

平成32年度目標	20回	400点
	1	1
成26年度実績	4 1 🗈	286点
数値目標平	●資料紹介展示回数	●デイジー図書等の所蔵点数(累計)

\* デイジー図書等・・・デイジー図書は本の朗読を録音したメディアで、目次から聞きたい箇所に飛んだり、しお りをつけたりできる。音声のみのデイジー図書とパソコン等で音声と画像を同時に再生できるマルチメディア デイジー図書を合わせて「デイジー図書等」と表記している。

# 徳島県立図書館サービス向上目標(第3期) ~県立図書館サービスの新たな展開~

平成28年3月

徳島県立図書館は、これまで2回にわたり「徳島県立図書館サービス向上目標」 を策定し、設定した目標の達成に向け業務を進めてまいりました この度、これまでの活動を踏まえた上で、今後5年間における県立図書館が目指 すべき目標を設定した「新たな計画」を策定しました。この計画に基づき、県立図 書館が社会の変化に的確に対応しながら、県民ニーズに応えられるよう「図書館サ 一ビス」を提供してまいりたいと考えています。

## 1. 運営方針

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な 視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に的確 に対応し、県全体としての図書館サービスの向上を図ります

## 2. 作動指針

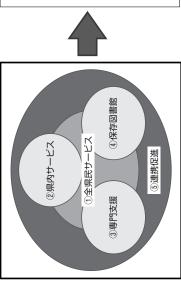
3.基本目標

『一人でも多くの人へ "図書館サービス"の提供を』

# (1) 500回蘇

- ① 全県民へのサービス展開
- ② 県内図書館サービスの向上
- 専門情報支援サービスの提供
- 県内資料・情報の保存図書館 4
- 様々な機関との連携促進

# (2) 展開イメージ



[一人でも

多くの人へ

"図書館

サービス"

提供を』

# ③専門情報支援サービスの提供

県立図書館は、豊富な所蔵資料と資料・検索技術に精通した職員の専門性を活か して、レファレンスサービス(本の検索、調べもの手伝い、研究に必要な文献調査 などを行うこと。)を充実するなど、県内における調査・研究の情報拠点としての 機能向上に努めます。

# a 課題解決·行政支援

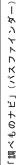
県民の暮らしや仕事に役立つ資料や情報、あるいは自らが地域政策に関わりやすく するための資料を適時提供します。また、県政情報をはじめとした様々な公共機関の 情報提供を行うとともに、行政への各種調査・相談サービスを通して、地域が抱える 課題の解決に向けた支援を行います。

# 情報検索ツールの充実

県民からより一層利用される図書館を目指して、レファレンス事例データの登録や 時宜に応じたパスファインダー (\*)を作成するなど、図書館資料や情報に県民自ら アクセスできる環境整備を進めます。

# 県外図書館等との協力体制

県外の公共図書館・大学図書館及び国立国会図書館とのネットワーク拠点として、 県民が求める資料を迅速かつ的確に提供できる体制づくりを目指します。



参考カウンターでのレファレンス



a line

平成32年度目標 000年 16, 2 1 件 13, 151年 平成26年度実績 ●パスファインダー作成件数 ●レファレンス件数 数值目標

\*パスファインダー=特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内リーフレット

# ②県内図書館サービスの向上

県立図書館は、市町村立図書館への支援を第一に、高度化する情報社会への対応 や職員研修の充実などにより、県内図書館サービスの向上に努めます

# 市町村立図書館への支援

市町村立図書館への協力貸出やレファレンスを充実するとともに、市町村立図書館 と連携しながら、近年増加傾向にある調ベ学習を県内学校図書館に支援するサポート サービスを開始します。

# b 図書館システムの充実

このため、現行のとくしまネットワーク図書館システムやホームページを時期をみな 1 CTの進展に伴い、スマートフォンなどの携帯端末の利用に対応したサービスへ のニーズが高まるなど、高度な技術を活用した情報化への対応が求められています。 がら見直すなど、県民の利便性の向上に努めます。

## 図書館職員の研修

図書館業務を取り巻く環境の変化に伴い、職員に求められる技術が多様かつ複雑に なっていることから、スキルアップのための研修を充実するなど、県内図書館界の技 術力向上に努めます。

# 図書館職員等研修会





平成32年度目標 1 3,872,869事 平成26年度実績 ●県内公共図書館総貨出冊数 数值目標

●研修参加者総数(累計)

50年

4,200,000串 0 0 0 440人

# ⑤様々な機関との連携促進

県立図書館は、文化の森各館との連携はもとより、県内の行政機関・大学をはじ め様々な機関との連携をより一層深めることにより、これまで以上に幅広く事業展 開ができるように努めます。

# 文化の森における連携

との連携を一層強化し、魅力ある企画を共同で実施するとともに、広報活動等の強化 文化の森各館(博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館) も図ります。

# b 行政機関・大学との連携

行政機関や大学との連携をさらに深め、行政情報の開示や共同講座の開催などによ るネットワークの強化に努めます。

郷土に関する調査相談の事例、地域の事項や人物のデータベースを充実し、これら

b 郷土レファレンスの充実

を Web 上に公開するなどにより、県民の調査研究を支援します。

伝えることのできる体制を整えます。また、Web 情報のみで公開される逐次刊行物の 徳島県や県出身者に関する資料や地域の行政資料などを網羅的に収集し、後世まで

プリントアウトやアクセス確保などにも取り組みます。

図書館資料の保存・整備に努めながら、将来の利用を見据えた県の資料センター

としての機能を高めます。

a 郷土資料の収集

県立図書館は、郷土資料の充実や所蔵資料のデジタル化による利便性の向上、

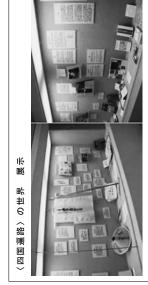
④県内資料・情報の保存図書館

子どもの読書支援や子育て支援のために、子どもの本を収集・整備した機関「子ど

子どもの本の資料センター

もの本の資料センター」に向けた取り組みを進めます。

閲覧室



兵庫県立図書館との交換講座

徳島大学生との意見交換会



平成26年度実績 ●連携事業総件数(累計)

数值目標

200年

1

平成32年度目標



書庫ツア

●郷土レファレンス公開件数(累計) 数值目標

●児童書の貸出冊数

1000年 平成32年度目標 平成26年度実績 668件

185,000事 1 638事 179,

## サービス向上目標(第3期)数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

	評価判定用数値	平成26年度実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 全	資料紹介展示回数	41	目標					50
全県民			実績	55	64	55		
サ 	デイジー図書等の所蔵点数	286	目標					400
ビス	万·1 ▼ 四目寸·2////₩////₩	200	実績	350	382	412		
2	    県内公共図書館総貸出冊数	3, 872, 869	目標					4, 200, 000
県内	水门40×00 自构心员山间外	0, 012, 003	実績	3, 907, 910	3, 832, 796			
図書	    研修参加者総数(累計)	440	目標					2, 000
館	如修参加有秘数(杂司)	440	実績	597	1, 041	1, 592		
3	レファレンス件数	13, 151	目標					16, 000
専門情			実績	11, 386	10, 606	11, 693		
報	パスファインダー作成件数	21	目標					50
支援			実績	31	<b>4</b> 5	50		
<b>4</b>	郷土レファレンス公開件数(累計)	668	目標					1,000
④ 保 存			実績	764	842	950		
図書	児童書の貸出冊数	179, 638	目標					185, 000
館	ル単百ツ貝山川郊		実績	203, 498	219, 133	219, 220		
⑤ 連 #	) 古 株 古 状 ( ) ( L ユ l ) 、	32	目標					200
携 促 進	連携事業総件数(累計) ※		実績	28	60	97		

## \*図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、 その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を 講ずるよう努めなければならない。

## 徳島県立図書館 年 報 令和元年度版

発行日 令和元年6月1日

発行人 〒 770-8070

徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園 徳島県立図書館

館長 野々瀬 由佳

TEL (088)668-3500 (代)

FAX (088) 668-6904